



石富 大貴

地域との関わり

土木部 出雲県土整備事務所 防災課 技師

令和3年度採用

県職員を選んだきっかけ

悩みに悩んだ就活

学生時代は県内の高校で土木関係の勉強をしていました。就職先については、これまでに学んだ土木の知識を活かせるような職に就きたいと考え、先生と面談を重ね、公務員になりたいと考えるようになりました。しかし、公務員がどのような仕事なのか分からなかったため、先生や公務員を目指している友人に話を聞くなどし、地域の方々に寄り添った仕事であることが分かり、やりがいがありそうだと感じました。また、公務員は国、県及び市町村に分かれており、私は生まれ育った島根県全体の発展に携わりたいと考え、島根県職員を目指しました。

現在の仕事内容

地すべり対策工事の監督

現在は、地すべり対策事業を担当しています。地すべりが活動しているかの現地調査や、地元の方からの聞き取り調査を行い、調査結果を基に工事の発注及び監督をしています。建設会社の方々と連携しながら工事を進めていき、自分が担当する地区が形になっていくため、やりがいを感じる事が出来ます。



印象に残っているエピソード

仕事内容を身につける三年間

入庁してからの3年間で特に印象に残っています。1年目は工事の監督や予算管理など全てが初めての経験で、不安でいっぱいでした。2年目には1年目の経験を活かし、仕事の流れを理解したうえで、仕事に臨むことができました。3年目はこれまで学んだことを活かし、工事担当として受注者からの質問に対し、自分で判断し回答することができ、自分の成長と仕事のやりがいを実感した1年でした。



転勤の良いところ

島根県をよく知ることが出来る

私は、初任地が隠岐の島でした。最初は初めての一人暮らしということもあり不安でしたが、職場の先輩や同期が優しく接してくれたため、一人暮らしにも比較的すぐ慣れることが出来ました。また、島根県職員は異動が約3年ごとにあるため、知らない土地に住むことがあります。何度か訪れたことのある場所でも住んでみると、それまで知らなかった地域の活動等を知ることができ、とても良い機会になると思います。